

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今回、好評価ともなった災害対策についての地域協力体制であるも、29年度パインの森移設予定に伴い、新しい地域への協力体制の構築や協力要請、また、現在地の方々との繋がりをこれからも大事にすることを課題に挙げた。	新しい地域での開設に向け、今から準備を整えることが必要である。また、職員の災害へ対する更なる知識習得も継続していく。現在の地域との協力も引き続き要請し、移設後も関係を継続していく。	新しい地域への協力要請や災害対策の構築について、早めに準備することとし、今まで通り、職員の災害へ向けた知識習得や意識改革を行い、体制を整えていく。もちろん、現在の地域との協力体制も大事にしていくこととする。	12か月
2	10	年1回の個別懇談の他、月1回の面会要請、そして、その面会時に状態報告や希望の把握、意見交換等に積極的に取り組んでいるものの、十分な意見や希望が聞かれず、家族と入居者の関係の継続の支援等も行いながら、訪ねやすく、話しやすいグループホームにしていく必要がある。	個別懇談や状態報告は今まで通り継続していくものの、良い事、悪い事を含め、何でも話せる関係を更に深めていく工夫と、面会回数を増やしていくことを目標にしていく。	今まで以上に細かいことへの配慮や状態報告を行い、家族が現在持っている不安等も、話せる範囲で引き出しながら、相談等を引き受けていく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。